

第19回ミクロネシア大統領サミットに対する安倍総理大臣メッセージ

平成31年2月

レメンゲサウ大統領、
代表団長の皆様、

第19回ミクロネシア大統領サミットの開催に当たり、お祝い申し上げます。各国が自らの未来に強いオーナーシップを持ち、地域で結束しつつ、直面する諸課題により効果的に対応していくとするミクロネシア諸国の皆様の御努力に心から敬意を表します。また、今次会合に我が国を御招待いただき、感謝申し上げます。

太平洋島嶼国地域の安定と繁栄は、自由で開かれたインド太平洋の実現にとっての要であり、我が国は、太平洋島嶼国の皆様との対話を積み重ねながら、海洋安全保障や連結性の分野を中心に支援を強化し、また人的交流を活性化させています。その中でも特に、地理的に日本に近く、また歴史的にも深い絆を有しているミクロネシア諸国の皆様とは、地域の未来のあり方につき、緊密に意見を交わしながら、手を携えて、課題を乗り越え、共に歩んでいきたいと願っています。

そのような願いを込めて、気候変動、海洋、保健衛生、海上保安等、地域の直面する諸課題につき意見交換を行い、皆様との結束を一層強化すべく、今次会合に初めて、私の特使として、鈴木外務大臣政務官を派遣いたします。

昨年5月の第8回太平洋・島サミット（PALM8）において、私は、「繁栄し、自由で開かれた太平洋」を実現するため、皆様と議論を交わし、5,000人以上の人材交流・育成を始め、数々のお約束をいたしました。今後、皆様と一緒に、このPALM8の成果をしっかりとフォローアップしていきたいと考えています。

日本とミクロネシア諸国の未来は、太平洋を通じて密接に結びついています。今後、皆様の声にしっかり耳を傾け、日本の強みを活かしながら、皆様と一層緊密に協力していきたいと考えています。

日本国内閣総理大臣 安倍晋三